躍進の足跡

平成6年→平成12年（1994～2000）

11月　歌津中学校屋内体育館並びに柔剣道場落成
11月　宮城の創作郷土芸能「歌津龍の舞」ドイツで公演
11月　第1回中学生国外交流、ドイツ訪問

平成6年
3月　伊里前漁港2種漁港に昇格
4月　少子化対策「ほのぼの養育奨励金」制度開始
9月　浅野史郎宮城県知事「知事さんあのね…」本町で開催
11月　小学生創作ミュージカル「TATSUGANEの詩」「潮騒のロンド」初公演

平成7年
4月　町社協、在宅老人に夕食宅配サービス開始
5月　平成の森長期滞在施設及びアリーナ落成
7月　「広報うたつ」200号記念中学生議会開催
10月　国勢調査　人口5,775人　世帯数1,375世帯
11月　伊里前保育所移転新築落成
12月　志津川消防署歌津出張所に救急車配置

平成8年
4月　町内二漁協合併、歌津町漁業協同組合誕生
6月　町長に牧野駿氏当選
9月　本吉郡中学校駅伝競走大会で歌津中学校初の男女優勝
10月　名足小学校校舎新築落成

平成9年
4月　ごみ収集に指定袋制導入
8月　JR歌津駅、乗車券・特急券・指定券等JR線全切符発売開始
12月　JR気仙沼線全線開通20周年迎える

平成10年
3月　町道白松線拡幅改良工事完成
4月　小学生創作ミュージカル「第2回ふるさとイベント大賞」自治大臣から受賞
5月　歌津町在宅介護支援センター開設
4月　カナダから魚竜化石「シャスタザウルス」（レプリカ）寄贈
7月　第10回記念東北ブロック・グラウンドゴルフ大会平成の森で開催

平成11年
1月　ゴミの分別収集開始
4月　町制施行40周年を迎え、名誉町民顕彰式・記念式典同時開催
4月　名誉町民に畠山郁朗翁・佐藤榮太郎翁の両氏推戴
4月　歌津町漁業協同組合女性部発足
4月　歌津町健康づくり計画策定
5月　ドイツ、ホルツマーデンより魚竜化石（1億8千万年前）魚竜館に納入される
5月　グループホーム「希望が丘」オープン
7月　「世界（5ヶ国）の魚竜化石」特別展示
7月　石泉地区に活性化センター「いずみ」オープン
8月　町制施行40周年記念NHKラジオ夏期巡回「ラジオ体操会」開催
8月　交通死亡事故ゼロ2000日達成
9月　山形県立川町と友好町締結
10月　第7回中学生国外交流ドイツ、イタリア両国訪問
10月　イタリア共和国ベザーノ町と国際友好都市盟約締結（ベザーノ町長以下30名来町）
11月　国際魚竜サミット「魚竜化石と自然史博物館」開催
11月　広域農道歌津工区開通式

平成12年
1月　津龍院で「龍の爪」12年ぶりに公開
1月　歌津中学校創立50周年を迎える
2月　歌津町漁業協同組合新事務所並びに漁業活性化推進施設完成

町道白松線拡幅改良工事完成（平成10年）

名足小学校旧校舎

名足小学校新校舎落成（平成8年）

名足小学校校舎新築落成（平成8年）

歌津町在宅介護支援センター開設（平成10年）

第2回ふるさとイベント大賞受賞（平成10年）

本吉郡中学校駅伝競走大会で歌津中学校初の男女優勝（平成8年）

伊里前保育所落成（平成7年）

思い出

（中在）
千葉　享さん

霊峰田束山を背にリアス式の海に面した、風光明媚な豊かな自然に恵まれた素晴しい町に生まれ育ち農林業を営みながら、59年間お世話になってまいりました。

昭和34年町政施行以来46年余り、海山大地の恵みを頂きながら単独町村としてきめ細かな住民サービスが出来人々の生活も人情みがあり、活力に満ちた素晴らしい町だと思うのです。このような環境の中私も様々な思い出や体験をさせて頂きました。特に青春時代青年団活動、4Hクラブ、青少年クラブ等で多くの友や仲間同志でスポーツ大会、演劇、盆踊り大会に参加をし青春時代を楽しんだ事を思い出します。又町民運動会、部落対抗野球大会など1区の区長さんと共に体育推進員として選手の選考をお願いに苦労しながらも優勝出来て喜び合った事も思い出します。私も来年還暦を迎えますが歌津町も46年余りの歴史と文化を残し10月1日南三陸町としてスタートします。

両町とも同じ様な産業形態ですのでお互いのメリットを生かし合併して良かったと思われる町になることを願うものです。

あの日あの時

イタリア共和国ベザーノ町国際友好都市締結（平成11年）

NHKラジオ夏期巡回「ラジオ体操会」開催（平成11年）

第10回記念東北ブロック・グラウンドゴルフ大会平成の森で開催（平成10年）

広域農道歌津工区開通式（平成11年）

立川町友好町締結（平成11年）

グループホーム「希望が丘」オープン（平成11年）

「みなと分校なかま」への手紙

（港）
高橋　正さん

拝啓　港分校同窓生におかれましては皆様、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

おじいちゃんから孫まで、3代にわたり学び遊んだ地元在住の分校仲間もしっかりとふるさとで頑張っておりますのでご安心下さい。

今度、市町村合併で、我が歌津10月1日に「南三陸町」としてスタートすることになりました。

皆さんは、分校仲間として、「愛郷の地「港」」をあとにして何年が経ちますか。私たちの心のふるさと、「港分校」は、歌津町史によると、「遠くは明治20年に設置され、時代の変遷を経て昭和45年3月を以て廃校になるまで実に80年余の長きにわたり港地区の生活、文化の拠点として歴史を刻んでまいりました、昭和52年の鉄道の開通、粉塵を上げていたでこぼこ国道の整備の中で分断され、今は港海岩店の工場として、スレート葺きの校舎の一部に面影をとどめるだけとなりました。

私たちの思い出のいっぱい詰まった学舎が消えたことは残念ですが、交通網の発達により港地区は昔の面影をとどめないほど変わり、大きく発展し、皆さん元気で楽しく過ごしておりますのでご安心下さい。

分校の上にあった小高い森の中から私たちを温かく見守ってくれていた、久須志神社は時代の移り変わりを見守りながら、今も、皆さんや、港地区民の安寧を願い静かに佇んでいます。

いつの時代も「港分校」は地区民の心の拠り所であり、「記念館」といった震災記念館での青年団の主催する村祭りや、芝居映画鑑賞など、娯楽の少なかった時代のみんなの楽しみの場でしたね。

「朝読み会（あさよみ会）」といって夏休みになると、早朝に分校にあつまり、先輩が小さい子を面倒見ながら勉強させる、集まりがありましたね。

みんなの思い出を大切にし、皆さんの心のふるさと「港分校」に共に学んだ仲間として、これからも温かく見守り、応援してください。「新町になっても、「ふるさと、港」はいつまでも皆さんを忘れません。

敬具